

## 市長の施政方針から

## 津山誠心会議

代表質問者 田口慎一郎



田口

津本(辰)

中島

安東

**質問** ↓ 今後の行財政改革とは。

**答弁** ↓ 長期財政見通しでは、三セク債の償還や新クリーンセンター建設による財政負担により、今後かつてないより厳しい財政運営を迫られることとなる。しかし、極端な行政サービスの低下を招かないこと、赤字をうまない財政運営の維持に配慮する考えである。このため、市民の皆様にならざる負担をお願いすることとなるが、歳入の確保、歳出の抑制に一層の改革を進める決意。具体的には、予想される財源不足がこれまでの取り組みではまかなえないため、現行の全事務事業・施設について廃止も含めた一定の整理を行いたい考えである。

**質問** ↓ 災害時非常伝達FMラジオは。

**答弁** ↓ 25年度は、ラジオ使用可能範囲を確認する。放送局となる「つやまコミュニティFM」に送信設備の整備を行う。ラジオは緊急告知機能付きの「FM防

災ラジオ』を避難所としている公共施設や町内会、自主防災組織などに配付して活用するものである。

**質問** ↓ 自主防災組織への支援は。

**答弁** ↓ 2月末現在、84団体で組織率にして56%である。25年度目標を、70%程度として、できるだけ早い時期に100%にしていきたい。支援内容として、設立促進と育成強化を図ることを目的に、防災資機材や備蓄品の整備、防災訓練活動などの経費に対し、組織規模数に応じて一定額を助成する。

**質問** ↓ JR津山駅周辺整備事業は。

**答弁** ↓ 津山駅周辺整備計画(素案)を24年度中に策定し公開する。24年度補正予算で測量、設計費等で約1億円を、25年度予算で用地買収費等で約5億円を提案。市民アンケートの結果をまとめるところ、投票総数が1,014票で、最も投票数が多かったのは、コンセプトを「城下町の風情が香る、歴史と津山人との

出会い」とした案の458票であった。また、多くの人たちが集う賑わいのゾーンを設けるとや、JRとバス等との乗り継ぎ利便性を改善する。

**質問** ↓ 小学3年生への学力テストは。

**答弁** ↓ 理科、社会科の学習が始まるなど教科内容の理解について差が見られ始める学年で、個々の学習における習熟度を標準化された学力検査で測り、その後の学校での指導支援に生かしていくことが主な目的である。小学校3年生全員を対象に、25年度後半に算数、国語、理科、社会の4教科について実施する計画である。これは、子ども一人一人への指導に活かす客観的資料にするもので、結果を公表するものではないと考える。調査結果からわかる傾向については、各学校、市教育委員会でもまとめ、その後の学習、施策に生かすことが大切と考えている。